

心に残る文化財子ども塾 島根県立出雲養護学校

1 活動の概要

11月1日（金）、島根県立出雲養護学校のみなさんと「縄文・弥生人の生活を知ろう～古代食作り体験～」をテーマに『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

当日は、埋蔵文化財調査センターの職員から、縄文時代と弥生時代の人々のくらしの様子について、本物の縄文土器や石器や弥生土器を見ながら学習しました。ドングリをすりつぶす石器や弥生人が食べていた古代米（赤米）を実際に見ました。実際に出土した土器に触れたり、石器を持ち上げて重さを実感したりしました。

そして、縄文人が食べていたドングリクッキーをみんなで作りました。クルミを潰し、ひき肉とドングリの粉を混ぜ合わせてこね、クッキーを作り、瓦の上で焼き上げました。さあ、いよいよ試食です。赤米のご飯といっしょにドングリクッキーを食べました。みんな初めて食べる料理の味はいかがだったでしょうか？

今回の学習を通して、縄文時代や弥生時代の人々の生活に思いを馳せ、歴史に興味や関心をもってくれたようです。

2 活動の様子

縄文・弥生時代について学ぶ



さあ一緒に勉強しましょう。



この石の上でドングリをつぶしていました。



ものすごく重いぞ！

古代食作り体験



クルミをつぶしています。



クルミと肉を混ぜ合わせています。



さあ、どんな味かなあ…。